



平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩谷 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部総務部長 (氏名) 松井 慎一

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-5561-6200

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,437	0.0	771	12.3	802	9.4	448	76.0
23年3月期第2四半期	5,440	8.5	686	1.7	733	0.3	254	44.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 438百万円 (187.6%) 23年3月期第2四半期 152百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	21.08	
23年3月期第2四半期	11.98	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	16,745	9,933	59.3	467.21
23年3月期	16,776	9,579	57.1	450.59

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,933百万円 23年3月期 9,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期		4.00		4.00	8.00
24年3月期		4.00			
24年3月期(予想)				4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	1.5	1,310	13.6	1,340	19.7	780	6.6	36.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	21,300,000 株	23年3月期	21,300,000 株
期末自己株式数	24年3月期2Q	39,231 株	23年3月期	39,001 株
期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	21,260,909 株	23年3月期2Q	21,263,040 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、新造船のうちバルカーにかかる過年度までの豊富な受注残を背景に、船用機器の需要は総じて高水準で推移いたしました。また、半導体、情報通信関連分野は、第2四半期に入り、半導体関連がやや減速したものの、全体としては需要は堅調に推移いたしました。他方、賃貸ビル業においては、都内オフィスビルの平均空室率が高止まりする一方、設備投資の低迷に伴い関連需要も低調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は54億3千7百万円（前年同期比微減）、営業利益は7億7千1百万円（同12.3%増）、経常利益は8億2百万円（同9.4%増）、四半期純利益は4億4千8百万円（同76.0%増）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

機械関連事業

船用機器においては、バルカーにかかる過年度までの豊富な受注残に支えられハッチカバー及び大型ブロックの出荷は伸長したものの、自動車運搬船向けカーデッキの落込を吸収し得ず減収となりましたが、受注は工場ラインのシフト等によりハッチカバーの需要を積極的に取り込んだこと等により増加いたしました。産業機器は、重電関連機器は堅調であったものの、空気予熱機関連及び製鉄関連の落込等により、売上、受注とも減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は32億4千3百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は4億6千7百万円（同4.6%減）となりました。

資源関連事業

半導体封止材や液晶ガラスなどの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）は、半導体関連及び液晶関連の需要が、第2四半期に入り、ユーザーの在庫調整や海外調達へのシフトの影響等からややペースダウンしたものの、高純度製品の市場開拓が寄与し増収となる一方、結晶質石灰石も、住宅関連資材向け需要が一部震災復興関連を含め堅調に推移するとともに、自社素材をベースとした環境関連資材（水処理用窒素除去剤）の需要開拓等により、出荷が伸長いたしました。他方、砂利、砂等の土木建設資材は需要が底這う中、減収となりました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は17億3千3百万円（前年同期比23.6%増）、営業利益は2億1千7百万円（同101.1%増）となりました。

不動産関連事業

賃貸ビル市況が低迷する中、稼働率がやや低下し、売上高は8千万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は4千3百万円（同2.7%減）となりました。

その他

耐熱塗料の需要は、設備用は回復傾向を示したものの、家電及びOA機器向け輸出仕様品等工業用の出荷が競争激化や需要先の減産等の影響により減少する一方、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連も取引先の定期修繕等の需要捕捉に努めたものの、製鉄関連向け大型案件のあった前年同期との対比で僅かに減少し、この結果、「その他」合計では、売上高は3億8千1百万円（前年同期比8.7%減）となりましたが、営業利益はライナテックス関連における業務効率化等が寄与し4千5百万円（同1.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債、純資産の状況）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、167億4千5百万円となり、前連結会計年度末比3千1百万円減少いたしました。これは、受取手形及び売掛金や仕掛金が増加する一方、現金及び預金の減少、減価償却の進捗により有形固定資産が減少したこと等によるものであります。負債合計は68億1千1百万円となり、前連結会計年度末比3億8千5百万円減少いたしました。これは、流動負債のその他に含まれている未払金や有利子負債が減少したこと等によるものであります。純資産合計は99億3千3百万円となり、前連結会計年度末比3億5千3百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は59.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、40億7千9百万円となり、前連結会計年度末(43億4千9百万円)より2億7千万円(前連結会計年度末比6.2%減)減少いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億6千6百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ1億9千1百万円の減少)となりました。これは主にたな卸資産の増加額が2億4千7百万円、法人税等の支払額が3億8千1百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が7億6千9百万円、減価償却費が2億7千2百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億4百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ1億9千4百万円の増加)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、3億3千2百万円(前年同四半期連結累計期間に比べ1億5千5百万円の減少)となりました。これは主に借入金の返済による支出があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、機械関連事業におけるハッチカバー及び大型ブロック等船用機器の受注が引き続き堅調である一方、資源関連事業のハイシリカ部門の需要について、半導体関連を中心にペースダウンが予想されること等を勘案し、平成23年5月12日に発表いたしました内容を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,622,729	4,383,166
受取手形及び売掛金	2,589,213	2,710,081
商品及び製品	283,378	301,374
仕掛品	663,442	841,178
原材料及び貯蔵品	225,953	278,014
その他	441,939	366,913
貸倒引当金	488	471
流動資産合計	8,826,169	8,880,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,434,240	2,388,018
機械装置及び運搬具(純額)	1,330,889	1,186,388
土地	2,507,946	2,479,021
その他(純額)	63,588	151,585
有形固定資産合計	6,336,665	6,205,015
無形固定資産	23,389	23,462
投資その他の資産		
投資有価証券	1,165,771	1,159,599
その他	428,538	479,198
貸倒引当金	3,567	2,506
投資その他の資産合計	1,590,741	1,636,291
固定資産合計	7,950,796	7,864,768
資産合計	16,776,965	16,745,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,843	931,637
短期借入金	2,669,603	2,600,410
未払法人税等	374,061	316,332
賞与引当金	143,869	133,109
役員賞与引当金	23,200	11,600
受注損失引当金	35,235	39,181
環境安全対策引当金	2,160	-
資産除去債務	35,429	23,469
その他	929,436	783,282
流動負債合計	5,031,839	4,839,021
固定負債		
長期借入金	698,544	520,680
退職給付引当金	530,387	551,565
役員退職慰労引当金	115,068	126,147
環境安全対策引当金	63,571	63,571
資産除去債務	80,969	68,957
その他	676,588	641,891
固定負債合計	2,165,128	1,972,813
負債合計	7,196,967	6,811,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	7,577,295	7,940,524
自己株式	9,587	9,633
株主資本合計	9,478,965	9,842,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,906	83,437
繰延ヘッジ損益	-	1,072
為替換算調整勘定	5,125	8,677
その他の包括利益累計額合計	101,032	91,043
純資産合計	9,579,997	9,933,191
負債純資産合計	16,776,965	16,745,026

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	5,440,199	5,437,821
売上原価	4,129,668	3,983,308
売上総利益	1,310,531	1,454,513
販売費及び一般管理費	623,835	683,015
営業利益	686,696	771,497
営業外収益		
受取利息	2,933	2,393
受取配当金	20,259	18,449
持分法による投資利益	28,866	42,334
その他	53,636	26,605
営業外収益合計	105,695	89,781
営業外費用		
支払利息	24,261	18,638
休廃止鉱山管理費	21,411	23,045
その他	13,324	17,198
営業外費用合計	58,997	58,883
経常利益	733,394	802,396
特別利益		
固定資産売却益	1,962	6
特別利益合計	1,962	6
特別損失		
固定資産処分損	5,275	4,278
減損損失	17,330	28,745
投資有価証券評価損	156,483	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54,383	-
その他	25,918	-
特別損失合計	259,391	33,023
税金等調整前四半期純利益	475,965	769,378
法人税、住民税及び事業税	189,584	324,117
法人税等調整額	31,709	3,011
法人税等合計	221,294	321,105
少数株主損益調整前四半期純利益	254,671	448,272
四半期純利益	254,671	448,272

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	254,671	448,272
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	71,451	12,468
繰延ヘッジ損益	7,731	1,072
為替換算調整勘定	23,094	3,551
その他の包括利益合計	102,278	9,988
四半期包括利益	152,393	438,284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152,393	438,284
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	475,965	769,378
減価償却費	292,896	272,599
減損損失	17,330	28,745
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,630	21,178
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	8,183	11,079
賞与引当金の増減額(は減少)	17,505	10,760
受取利息及び受取配当金	23,192	20,842
支払利息	24,261	18,638
持分法による投資損益(は益)	28,866	42,334
投資有価証券評価損益(は益)	156,483	-
有形固定資産売却損益(は益)	1,962	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54,383	-
有形固定資産処分損益(は益)	5,275	4,278
売上債権の増減額(は増加)	89,155	120,867
たな卸資産の増減額(は増加)	121,995	247,792
未収入金の増減額(は増加)	229,557	10,624
仕入債務の増減額(は減少)	61,205	64,532
未払金の増減額(は減少)	7,671	1,707
未払消費税等の増減額(は減少)	20,224	13,826
未払費用の増減額(は減少)	79,429	2,850
前受金の増減額(は減少)	64,368	672
その他	18,323	37,654
小計	840,176	681,837
利息及び配当金の受取額	112,565	84,448
利息の支払額	24,698	18,940
和解金等の支払額	6,800	-
法人税等の支払額	363,694	381,028
営業活動によるキャッシュ・フロー	557,549	366,316
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	1,670	1,955
有形固定資産の取得による支出	105,478	250,909
有形固定資産の売却による収入	3,211	263
貸付金の回収による収入	6,360	7,020
資産除去債務の履行による支出	13,964	24,156
その他	1,833	34,435
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,709	304,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	26,532	-
長期借入金の返済による支出	375,817	247,057
自己株式の取得による支出	534	46
配当金の支払額	85,057	85,043
財務活動によるキャッシュ・フロー	487,941	332,147
現金及び現金同等物に係る換算差額	143	57
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	40,244	270,062
現金及び現金同等物の期首残高	3,369,558	4,349,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,329,314	4,079,166

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,538,869	1,402,053	81,877	5,022,800	417,399	5,440,199	-	5,440,199
セグメント間の内部 売上高又は振替高	303	103	-	406	4,847	5,253	(5,253)	-
計	3,539,173	1,402,156	81,877	5,023,207	422,246	5,445,453	(5,253)	5,440,199
セグメント利益	490,022	108,015	44,459	642,497	45,205	687,703	(1,006)	686,696

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去713千円、全社費用 1,720千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,243,057	1,733,018	80,653	5,056,730	381,090	5,437,821	-	5,437,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	134	-	134	783	918	(918)	-
計	3,243,057	1,733,153	80,653	5,056,864	381,874	5,438,739	(918)	5,437,821
セグメント利益	467,326	217,253	43,239	727,820	45,830	773,650	(2,153)	771,497

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去520千円、全社費用 2,673千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。